

月 月 月 月 月 月 月 月
日 日 日 日 日 日 日 日

文部省

發文六六號

定決裁

10月31日

文書課長

送發

11月2日

起案者

佐

昭和二年十月廿九日起案

大臣

次官

專門學務局長

普通學務局長

實業學務局長

秘書課長

政務次官

參事官 安部

案一

年月日 次官

直轄學校長
公立大學長
公立專門學校長
公立高等學校長
地方長官

宛

文部省

番號	名 件	種 別
六六 年 月	明治 式舉行	直轄

定決裁

10月31日

文書課長

送發

11月2日

起案者

佐

十月廿九日起案

文書課



學務局長
通學務局長
兼學務局長
書課長

官安

案二

年月日 次官

直轄學校長
公立大學長
公立專門學校長
公立高等學校長
地方長官

宛

文
部
省

番 號	名 件	種 別
六六 年 月 日 二 二 年 保 限	明治郎ヲ制定セラレタルニ付祝賀 式舉行方	〇 一 聯 繫
4 キ 數 枚		追 登 加 錄
6		

明治節ニ關スル件

本年三月三日 詔書ヲ發シ明治節ヲ制
定セラレタルトコロ右ハ曠古ノ隆運ヲ啓カセタマヘ
ル 明治天皇ノ遺徳ヲ仰キ明治ノ昭代ヲ追
憶セントスル旨趣ニ基カセララルモノナルニ依リ今般
學校ニ關スル諸法令中改正ヲ加ヘ紀元節、
天長節及一月一日ノ外明治節ヲ加ヘ當

文部省

日ハ職員、生徒及児童、學校ニ參集シテ祝賀
ノ式ヲ行ハシムルコトト爲セリ依テ貴學(校)(地方
長官ニ貴府縣内各種ノ學校)ニ於テモ此ノ旨
趣ヲ體シ適當ニ御措置(地方長官ニ適
當ニ措置セシムルヤウ御示達)相成度依命
此段申進
追テ諒閣中ハ舉式ニ及ハサレ儀ニ付爲

念申添フ

案ノ二
年月日 次官

朝鮮總督府 政務總監
臺灣總督府 總務長官
關東廳 長官
樺太廳 長官
南洋廳 長官

各通宛

明治節ニ關スル件
今回明治節ニ關スル別紙一通ニ通牒スル
ニ付御参考迄ニ申進ス

文部省

注意

第二案別紙ハ第一案ヲ謄寫ノ下
但地方長官宛ノ事

文部省

號

定決裁

月 日

文書課長

送發

月 日

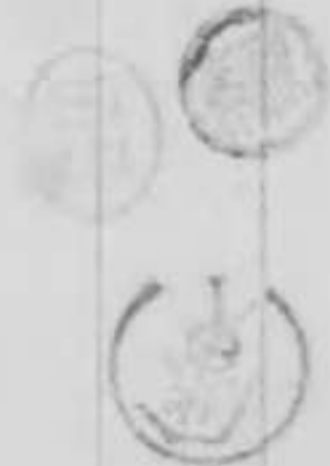
起案者



昭和二年十月廿八日起案

各課長

實業事務局長



次官

秘書長

十月廿八日

局長

各地方長官宛

明治節祝賀式ニ関スル件

文部省

今由明治節法制定相成りて付
 テハ実業學校ニ於テモ三大節ノ例
 ニ依リ祝賀式ヲ行ハシムル標本
 取計相成度此段迄命通牒ス
 追テ諒閣中ハ奉答ニ及ビ共儀ニ付為
 念申添ル

案ニ

十月廿八日

局長

官公初立山実業專科學校長宛
 明治節祝賀式ニ関スル件

月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

今回明倫堂節は制定期満ニ付テハ
定業專向學校ニ於テ又三大節ノ例
ニ依リ祝賀ノ式ヲ行ヒ度此段依
命通牒ス
追テ接周中ハ其ノ式ニ及ハサル所ニ付為
念申添ス

文
部
省

發秘一三號

昭和二年一月十四日

文部大臣官房秘書課長文部書記官澤田源一

通牒

諒闇中ノ式日ニハ皇室儀制令ニ依リ舉式ニ及ハ
サル儀ニ付御了知相成度為念
参照

皇室儀制令

第八條 天皇喪ニ在ルトキハ新年朝賀ノ式
新年宴會紀元節ノ式天長節ノ式講

書始ノ式及歌合始ノ式ハ之ヲ行ハス
喪ニ在ルトキ同シ
攝政